

淡路島 南あわじ市
メディア向けニュースリリース

南あわじ 旬だより

2025年12月



南あわじ市の取り組みをたっぷり紹介

政策
文化・教育
イベント・体験
グルメ

目次

政策

文化・教育

イベント・体験

グルメ

1. 健康寿命延伸へ「フレイル外来」	4
2. ちょうどいいサポート「ふらっと湯の川」	5
3. 南海トラフ地震に備えて～災害時応援協定と総合防災訓練～	6
4. 淡路島を「世界一の食の島」へー「食の街区」形成	8
5. 南あわじの「お魚ブック」と「さかなカタログ」	9
6. マップを持って推し活！「南あわじの推し文化財」	10
7. 玉青館 春季特別展「珉平焼からタイルへ」	12
8. 大充実の企画展示「淡路人形浄瑠璃資料館」	14
9. 淡路人形座 渋谷公演	15
10. イングランドの丘のシーズナルイベント2025	16
11. 道の駅うずしお リニューアル記念スタンプラリー	18
12. 「灘黒岩水仙郷」1月7日より開園	19
13. 心ほどける、南あわじ温泉郷の癒し旅	20
14. 淡路島で“プチ漁師体験”	21
15. 冬の福良を彩る「フクラリエ」	22
16. 「淡路島3年とらふぐ」今年も解禁！	23
17. 兵庫県最大級の直売所 あわじ島まるごと「美菜恋来屋」	24
18. 「島サラダ×ベジスイーツフェア2025」開催中！	25
19. 冬はそうめん作りの最盛期！「淡路手延べそうめん」	26
20. 淡路島牛乳（株）商品、4年連続五つ星ひょうごに選定	27
2025年、メディアで取り上げられた南あわじ市のニュースはこれら！	28



「旬」の場所は
ココ

南あわじ市全域

フレイル外来	P. 4
災害時応援協定	P. 6
お魚ブック・さかなカタログ	P. 9
推し文化財	P. 10
南あわじ温泉郷	P. 20
漁師体験（灘・丸山・沼島）	P. 21
島サラダ×ベジスイーツフェア	P. 25

南あわじ市

兵庫県 淡路島

淡路市

洲本市

玉青館
春季特別展
P.12

淡路島牛乳
五つ星ひょうご
P.27

イングランドの丘
P.16

湯の川荘
ふらっと湯の川
P.5

美菜
恋来屋
P.24

道の駅
うずしお
リニューアル記念
スタンプラリー
P.18

灘黒岩
水仙郷
P.19

淡路人形浄
瑠璃資料館
P.14

淡路
人形座
渋谷公演
P.15

福良地区
(福良湾)
P.8
P.22
P.23
P.26
食の街区形成
フクラリエ
3年とらふぐ
手延べそうめん

徳島県

分類

■政策 □文化・教育 □イベント・体験 □グルメ

タイトル

健康寿命延伸へ「フレイル外来」

事業等

フレイル外来事業

ホームページ等

日 時

通年・随時



場 所

市内各関係機関

連絡先

南あわじ市 市民福祉部 地域包括支援室 担当:秋田

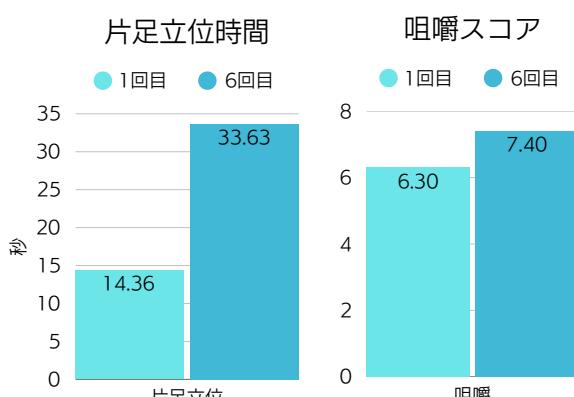
TEL: 0799-43-5237

✉: houkatsu@city.minamiawaji.hyogo.jp

市HP
フレイル外来事業

顕著に成果を上げるパワフルな高齢化対策事業

南あわじ市は、高齢化率36.9%に達し、将来「働く世代1人で高齢者1人」を支える深刻な状況に直面しています。この未来を乗り越えるため、市は「健康寿命の延伸」「自立の後押し」に加え、地域の中で人と人が支え合えるつながりを取り戻すことを重点目標とした「シニア元気分け合いプロジェクト」を推進しています。その中でも最も重要な入口となるのが、「フレイル外来事業の拡充」です。



■ 包括的診断：虚弱を「年齢のせい」で終わらせない

これまで「歩くのが遅くなった」「疲れやすい」といった変化は“年齢のせい”として見過ごされがちでした。フレイル外来では、こうした兆候を早期に捉えるため、健診から診察、専門職指導、地域参加支援までを一体化した包括的プログラムを提供しています。

事業への入口は、健診、地域包括支援室、かかりつけ医、ケアマネジャーなど幅広く設定しており、初診は市の助成により無料です。医師は、体力測定や生活習慣などから、虚弱の原因を医療と介護予防の両面で診断し、初診時にはリハビリテーション専門職が骨格筋量、歩行速度、口腔機能、認知機能など多面的な指標を評価し、介入点を医師に提案します。実施医療機関は現在3機関に拡大しており、市では医療機関が参加しやすい環境整備を進めながら、今後さらに協力医療機関を増やしていくことを計画しています。

■ 6ヶ月間の伴走支援：運動習慣定着率100%の成果

診断後、未病段階の方には、リハビリテーション専門職が中心となり、「運動・食事・口の健康」を柱に、月1回60分の個別指導を6ヶ月間継続します。指導では、単に技術を教えるだけでなく、本人の「どんな生活を送りたいか」という想いを丁寧に聴き取り、目標に沿った個別プランを作成します。生活記録表を用いた、「自分で改善する」仕組みも特徴です。

このプログラム修了者のデータでは、歩行速度、バランス機能、下肢筋力、咀嚼など多方面での改善が確認されており、運動習慣の定着率は現時点で100%という驚くべき成果を上げています。

■ 「卒業」後の切れ目のない支援体制

フレイル外来の最終目標は、機能改善にとどまらず、地域に根ざした生活再構築にあります。従来の「案内をして終わり」という課題を解消するため、地域活動への移行時には、情報誌の提供に加え、百歳体操会場などへの「初回同行」を行うなど、社会参加への導線をより確かなものにする取り組みを進めています。また、通院が困難な方のために訪問型フレイル支援の実施を検討しています。こうした取組により、支援の地域格差を縮小していくとともに、「健康づくりは自分の生活を豊かにするだけでなく、地域の支え合いにもつながる」という考え方を地域文化として根づかせていくための南あわじ市の挑戦です。

分類

■政策 □文化・教育 □イベント・体験 □グルメ

タイトル

ちょうどいいサポート「ふらっと湯の川」

事業等

介護予防・地域ささえあいサポート拠点事業

日 時

通年・随時

場 所

老人福祉センター湯の川荘（南あわじ市伊加利1181番地1）

連絡先

南あわじ市 市民福祉部 地域包括支援室 担当：秋田

TEL：0799-43-5237

✉：houkatsu@city.minamiawaji.hyogo.jp

介護人材不足に先手を打つ新しい生活支援モデル



● なぜ「ふらっと湯の川」が今必要なのか

高齢者の健康寿命を延ばすためには、身近で気軽に参加できる介護予防の場が欠かせません。しかし、人口減少により担い手の確保が難しくなる中、従来の個別支援だけでは限界があります。

「ふらっと湯の川」は、入浴、体操、買い物、共食を通じて「健康づくりは自分の生活を豊かにし、地域の支え合いにもつながる」という新しい地域文化を育てる拠点です。外出が減っていた方々が再び地域とつながり、自分らしい暮らしを続けていくための、市の新たな挑戦です。

南あわじ市が立ち上げる「介護予防・地域ささえあいサポート拠点事業」、通称「ふらっと湯の川」は、外出が減りがちな高齢者を主な対象とした新しい生活支援モデルです。人口減少が進む中山間地域では、高齢者を支える担い手が減少しており、「身近な場所で気軽に介護予防へ参加できる居場所」の整備が急務となっています。市内でも、「百歳体操に行けなくなった」「通所サービスは馴染まない」という方が増えており、地域の集まりと介護サービスの狭間にいる高齢者の介護リスク軽減が喫緊の課題となっています。

■ 地域資源の活用と運営概要

「ふらっと湯の川」は、市営温浴施設「老人福祉センター湯の川荘」を改修し活用します。ここは、外出・交流・健康づくり・相談の「入口」となり、お風呂や買い物のついでに誰でもふらっと立ち寄れ、自然と人との交流が生まれる居場所を目指しています。運営は毎週月・水・金の週3日。送迎、入浴、体操、買い物（移動販売を検討中）を組み合わせ、娯楽と健康支援を組み合わせた多彩なプログラムを提供します。

■ 心と体を活性化するコンテンツ

- 交流・娯楽：囲碁・将棋・オセロ等に加え、eスポーツなど家庭用ゲーム機も導入し、楽しみながら交流できる場を提供します。また、共食スペースを設け、「誰かと食べる」習慣を後押しします。
- 健康支援：いきいき百歳体操、医療専門職による講話や個別相談、体力測定などの健康チェックを無料で実施します。こうした取り組みにより、顔なじみが増える、声を掛け合う雰囲気が生まれる、ボランティアなど小さな役割が芽生えるといった“地域のつながりの芽”が育まれることが期待されます。

■ 事業計画と将来の展開

「ふらっと湯の川」は令和8年3月の事業開始を目指し、令和8年1月頃から改修工事を予定しています。また、多世代交流や認知症カフェなど、地域ニーズに応じた機能拡充も検討しています。

分類

■政策 □文化・教育 □イベント・体験 □グルメ

南海トラフ地震に備えて～災害時応援協定と総合防災訓練～

事業等	災害時応援協定・総合防災訓練	ホームページ等
日 時	毎年秋（総合防災訓練）	
場 所	市内全域	
連絡先	危機管理部 危機管理課 担当：上田・沖 TEL：0799-43-5203 FAX：0799-43-5303 ✉：kikikanri@city.minamiawaji.hyogo.jp	市HP 災害応援協定

災害時応援協定の件数は「安心の数」

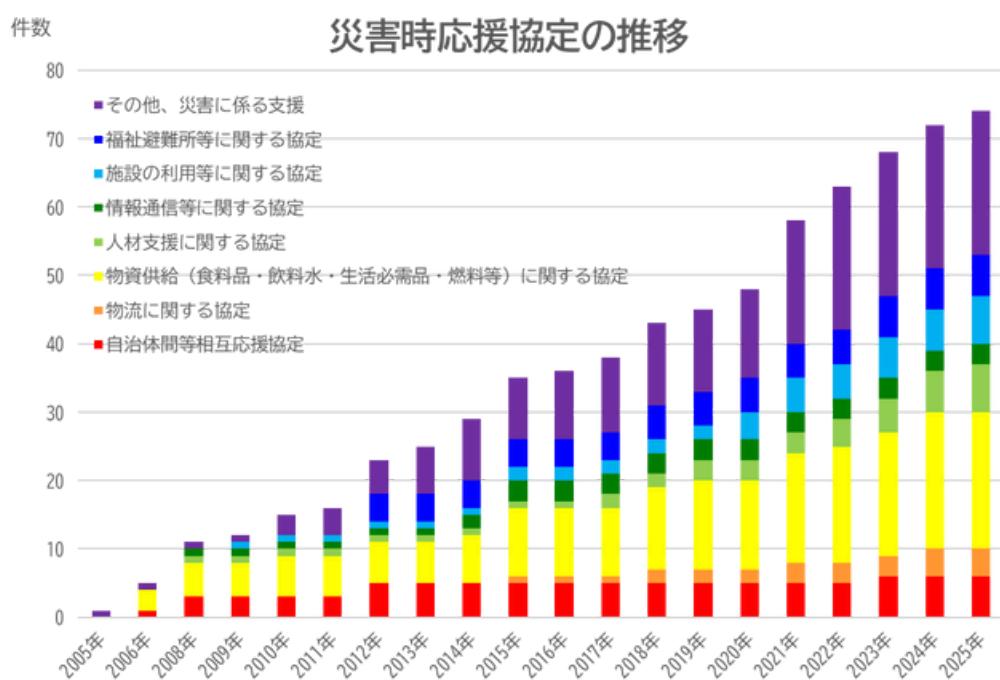


今年度実施された総合防災訓練の様子（市小学校）

南あわじ市は、南海トラフ地震が発生すると震度6弱～7の揺れが想定され、津波による被害も懸念されています。そこで、「安全・安心のまちづくり」を政策の大きな柱と位置付け、自治体間だけでなく、民間事業者とも様々な応援協定を締結しています。トイレカーのように発災直後から支援が求められるものから、法律相談などの中長期的な支援まで協定内容はさまざまです。災害時応援協定の数は、2025年11月末時点でなんと74件に上ります。

そして、協定を実効性のあるものとするため、毎年秋に開催する総合防災訓練のメイン会場において、市民に紹介すると共に、出展や訓練を合同で行うことで顔の見える関係を築き、維持継続に努めています。

なお、2026年1月4日（日）9時からは、三原健康広場グラウンドにて、南あわじ市消防団による年始恒例の初出式が予定されています。



■ 総合防災訓練のトピック

年度 (メイン会場)	2023年 (賀集小学校)	2024年 (倭文小学校)	2025年 (市小学校)
道路上の障害物除去 警察と連携し、電線の保安措置を実施。関電との覚書の実効性確認			
避難訓練への児童参加 近隣住民に訓練参加を呼びかけ、防災学習をポスター発表			
トイレカー相互派遣（災害時応援協定） 協定締結した愛媛県宇和島市のトイレカーを展示			
災害時応援協定 三原ライオンズクラブ、兵庫三菱自動車(株)の参加、シャワーキット (WOTABOX) 展示。あわじ島農業協同組合 (コンテナ等)、大和リース (株) (間仕切り)、淡路紙工 (段ボールベッド)、太陽工業(株) (エアテント) などの備品を展示			
		生活用水対策（災害時応援協定） 井戸を活用した給水訓練、ミキサー車からの給水	
		被災地への職員派遣 令和6年能登半島地震が発生、トイレカーや職員を派遣	
		QRコードを活用した避難所運営訓練 避難所受付の混雑解消のための実証実験	
			LINEを活用した避難所運営訓練 受け入れ時に児童も協力
			ドローン中継訓練（災害時応援協定） 火災現場を空撮、状況把握に有効と再認識
			災害伝言ダイヤル（災害時応援協定） 災害伝言ダイヤルのデモ実施

■ 総合防災訓練における協定先との連携状況

	R3	R4	R5	R6	R7
提携先／テーマ	コロナ禍の災害対応	コロナ禍の災害対応	災害時応援協定締結団体との実践的な訓練	能登半島地震の教訓を生かす	令和6年能登半島地震の教訓を生かす
南あわじ市役所			トイレカー展示		
愛媛県宇和島市			トイレカー展示		
大和リース(株)			間仕切り展示		
南あわじ市社会福祉協議会			ボランティアセンター設置運営訓練		
大阪広域生コンクリート協同組合			放水訓練		
南あわじ市災害時ドローン活用協議会			ドローン中継訓練		
(株)大塚商会			WOTABOX展示		
三原ライオンズクラブ			物資搬送訓練		
兵庫三菱自動車販売(株)			車両給電体験	車両展示	
NTT西日本					災害用伝言ダイヤル「171」
関西電力送配電(株)		停電復旧作業	道路啓開		車両展示
トーホー工業(株)				発砲スチロール製パレット展示	
兵庫LPガス協会淡路支部		発電機、デリバリーステーション展示			

分類

■政策 □文化・教育 □イベント・体験 □グルメ

タイトル

淡路島を「世界一の食の島」へ 「食の街区」形成

事業等

「世界一の食の島」を先導する食の街区形成

ホームページ等

日 時

随時

場 所

南あわじ市福良地区

連絡先

南あわじ市 産業建設部 商工観光課 担当：阿部
TEL：0799-43-5221 FAX：0799-43-5321
✉：shoukou_kankou@city.minamiawaji.hyogo.jp市HP
食の街区形成

空き家を活用した「世界一の食の島」を先導する食の街区形成



南あわじ市福良



スペイン・サンセバスチャン



再生後の新しいまちなみイメージ

淡路島は、世界的な美食都市サン・セバスチャンに劣らぬ御食国として「世界一の食の島」をめざす構想を掲げており、そのモデルとなるのが福良地区での空き家を活用した「食の街区」形成です。

■ 空き家対策と飲食店不足を一挙に解決する

福良地区は渦潮や人形浄瑠璃といった卓越した観光資源を持つ一方で、商店街には空き家・空き店舗が増えています。また、宿泊客が夕食をとれる飲食店が不足していることで滞在体験の質が低下しています。市は、この課題を克服し、空き家を活用し飲食店等を誘致・集積して、旅の上級者が訪れる「食の街区 みなとまち福良」を目指します。

■ 民間主導のまちづくり会社によるエリアマネジメント

街区形成は民間主導のスキームで進められます。空き家の買収・改修・店舗誘致を一貫して担う市民出資の「福良まちづくり会社（仮称）」を立ち上げるため、地域を愛する住民が中心となって準備を進めています。

- 専門家招聘：兵庫県たつの市で実績を持つ畠本康介氏を招聘し、設立準備を進めています。
- 役割：市民出資による同社がエリアマネジメントを担うことで、空き家所有者と、出店者や移住者といった借り手のニーズをつなぎます。

■ 「福良らしい」まちなみの継承と地域・若者との連携

まちなみ再生の重点方針は、福良の古き良き風景を生かすことです。

- 景観維持：空き家再生時には、焼杉の外壁、淡路瓦などを活かしたレトロモダンな景観の継承を推奨します。
- ウォーカブル化：観光客の回遊性向上のため、エントランスとなる八幡神社周辺から舗装や照明を整備し、心地よいウォーカブル空間を創出します。
- 連携：地元高校生15名がPR動画作成などに参画し、地域一体となって機運醸成を図っています。空き家活用イベント「うずロック2024inふくら」「みなとまち福良おいしい街あるき」では所有者から活用への具体的な手応えが得られました。

■ 利便性向上のためのインフラ改善

飲食店の誘致と並行してインフラ改善も進めます。

- 交通：高速バスの最終便延長をバス会社に要望。
- 駐車場：複数の既存駐車場を一括運用する「駐車場の一体的運用制度（有料化）」の導入を検討し、駐車場の全体最適化を図ります。

分類

□政策

■文化・教育

□イベント・体験

□グルメ

タイトル

南あわじの「お魚ブック」と「さかなカタログ」

事業等

はじめましての南あわじお魚ブック・南あわじのさかな 旬のカタログ

ホームページ等

日 時

—

場 所

市ホームページで閲覧可能・市内小中学校の水産教室で配布



連絡先

南あわじ市 産業建設部 水産振興課 担当: 村上

TEL: 0799-43-5243 FAX: 0799-43-5343

✉: suisan@city.minamiawaji.hyogo.jp

市HP
お魚ブック市HP
さかなカタログ

食育と地産地消、そして持続可能な漁業のための参考書



南あわじ市では、豊かな海に育まれ、年間100種類以上の魚が水揚げされていますが、そのほとんどは一般の食卓に届くことなく、「メジャーな魚だから美味しい」という常識の影に隠れてしまっています。市は、この豊富な水産資源を活かすため、『はじめましての南あわじお魚ブック』と『南あわじのさかな旬のカタログ』を作成しました。

■ SDGsで挑む「未利用魚」の課題

この冊子の作成の背景には、「未利用魚・低利用魚」という深刻な問題があります。美味しいでも市場価値が低いため、獲れても捨てられてしまう魚が存在するのです。お魚ブックは、こうしたマイナーな魚も広く紹介することで、市民や観光客に「知られていないだけで、実は美味しい魚」の存在を知つてもらい、SDGsの観点から水産資源を余すことなく活用するきっかけを作ることを目指しています。

■ 教育現場の「学びの原風景」

この冊子は、小中学生にも分かりやすいよう作成され、市内小中学校での水産教室で活用されています。子どもたちは、魚の紹介だけでなく、海の環境問題や、地元で獲れる魚の調理法を学ぶことができます。

例えば、アイゴは「ヒレのトゲには毒があるので注意。内臓はぐるぐると渦巻のようになっており、魚や海藻のにおいなどがまじった独特の臭さがある。刺身やあらいにすると弾力が楽しめる。皮に風味があるので干物やタタキもおすすめ。」、ヘダイは「脂ののった身はねっとりして甘みがあり、旬の時期の刺身は特においしい。アラからおいしい出汁が出るので、アラ汁もおすすめ。手の平サイズを塩焼きにすると脂の甘さが味わえる。」といったことが掲載されています。

■ 情報発信の強化

このカタログは、市役所HPのウェブブックでも公開されており、市外の人々にも南あわじの隠れた魚の魅力を発信しています。これは、食育と地産地消、そして持続可能な漁業を両立させる、南あわじ市の新しい挑戦です。

分類

□政策

■文化・教育

□イベント・体験

□グルメ

タイトル

マップを持って推し活！「南あわじの推し文化財」

事業等

南あわじ市の指定文化財以外の文化財

ホームページ等

日 時

—



場 所

南あわじ市内全域

連絡先

南あわじ市埋蔵文化財調査事務所 担当：定松
 TEL：0799-42-3849 FAX：0799-42-3806
 メール：maizoubunkazai@city.minamiawaji.hyogo.jp

市HP
 推し文化財マップ

文化財を知り、歴史を知って、南あわじ市愛を深める

南あわじ市には、国・県・市の指定文化財が併せて87件あります。ですが、指定を受けていなくても、誇れる文化財がまだまだあります。そんな“推し文化財”をマップにしました。マップを片手にあなたの“推し文化財”を探してみませんか？



No.	名称	説明
淳仁天皇関連	1 丘の松	最初の埋葬地と伝わり、市陵墓参考地となる。
	2 野辺の宮(のべのみや)	配流された天皇が幽閉された地と伝わる。
	3 賀積寺(こうしゃくじ)	天皇の位牌を安置している。
	4 大炊神社(おおいじんじゃ)	敷地内にある天皇森が埋葬地と言われ、今も霜よけのこもを埋葬場所に掛けている。
	5 淳仁天皇 淡路陵	明治7年(1874)に陵と定められる。
	6 当麻夫人墓(たいまふじんぼ)	ともに淡路島に来た天皇の御母の墓。
	7 南辺寺(なんべんじ)	本尊(地蔵尊)は天皇の持仏だったと伝わる。
庭園	8 金剛寺庭園	座視鑑賞式蓬萊枯山水庭園(江戸時代)。
	9 常楽寺庭園(じょうらくじていえん)	池泉鑑賞式庭園(江戸時代)。
	10 妙觀寺庭園(みょうかんじていえん)	池泉鑑賞式庭園(江戸時代)。
延喜式内社	11 大和大國魂神社(やまとおおくにたまじんじゃ)	淡路国二宮で、祭神は大和大國魂命。
	12 笑原神社(西宮)(やはらじんじゃ)	延喜式内社で、祭神は素盞鳴命。
	13 湊口神社(みなとくちじんじゃ)	延喜式内社で、祭神は速秋津比古神。
	14 久度神社(くどじんじゃ)	延喜式内社で、祭神は仲哀天皇。
淡路人形浄瑠璃	15 上村源之丞の屋敷跡	初代上村源之丞は人形遣いを淡路島に伝えた百太夫の子と伝わる。
	16 淡路人形浄瑠璃(頭、道具類)	淡路人形浄瑠璃資料館にて見学できる。
近代遺産	17 上田池堰堤(こうだいいけえんてい)	農業用としては全国でも古い粗石モルタル造の重力式ダム。高さ41.5mはこのタイプでは日本一高い。昭和7年(1932)竣工。平成20年(2008)土木学会選奨土木遺産に登録。
	18 成相池堰堤(なりあいいけえんてい)	農業用の粗石モルタル造の重力式ダム。成相ダム建設に伴い、上部約5mを残して常時水没している。昭和25年(1950)竣工。令和3年(2021)に土木学会選奨土木遺産に登録。
近代遺産	19 円筒分水工①(市青木)	
	20 円筒分水工②(神代社家)	
	21 円筒分水工③(神代社家)	
	22 円筒分水工④(市円行寺)	農業用水を田んぼへ公平に分けるための施設。円筒の中心部に水を湧き出させて、外側に一定の割合で分けられる仕組み。
	23 円筒分水工⑤(八木養宜上)	
	24 円筒分水工⑥(八木鳥井)	
	25 円筒分水工⑦(八木鳥井)	
	26 円筒分水工⑧(八木野原)	
	27 淡路鉄道跡	大正11年(1922)～昭和41年(1966)に福良～洲本間を走る。市内には11駅あり、わずかに線路跡が残る。
	28 天明志士記念碑(てんめいししきねんひ)	天明2年(1782)に起きた、農民一揆犠牲者の顕彰記念碑。板垣退助が撰文、巖谷一六が揮毫し、明治31年(1898)築。
石造物	29 嘴呼此墓(ああこのはか)	天保3年(1832)に藩に町送りの改正を強訴し、追放された弥三助と林太の墓。明治36年(1903)築。
	30 道路標柱①(広田里程元標)	
	31 道路標柱②(神代里程元標)	
	32 道路標柱③(福良里程元標)	
	33 道路標柱④(廣田村道路元標)	道路元標とは、道路の路線の起点や終点や経過地を表示するための標識のこと。大正9年各市町村に設置された。県下の里程標の起点となる神戸元標から、岩屋・志筑・由良・市村・福良の距離が記されている。明治期に設置されたものについては、里程元標と呼ばれている。
	34 道路標柱⑤(八木村道路元標)	
	35 道路標柱⑥(市村道路元標)	
	36 道路標柱⑦(神代村道路元標)	
	37 道路標柱⑧(倭文村道路元標)	
	38 道路標柱⑨(志知村道路元標)	
	39 道路標柱⑩(伊加利村道路元標)	
	40 道路標柱⑪(沼島村道路元標)	
戦争関連遺産	41 若人の広場(戦没学徒記念塔)	第2次大戦に動員され亡くなった学徒を追悼する施設として、昭和42年(1967)に丹下健三設計によって建設された。
	42 慈母観音立像と海軍予科練兵慰靈碑	昭和20年(1945)に阿那賀沖で亡くなった宝塚海軍予科練習生らの墓石と顕彰碑、慈母観音像が建立された。
戦争関連遺産	43 ○○(まるまる)飛行場跡	昭和18年(1943)に造成された飛行場。何も残っていないが、滑走路のコンクリートや側溝の蓋を土台に利用した家が残る。
	44 門崎砲台跡(とさきほうだいあと)	明治期の国内最大級のドーム型砲台。
	45 笹山砲台跡(ささやまほうだいあと)	消滅のため詳細不明。
	46 行者ヶ嶽砲台(ぎょうじやがだけほうだい)	砲座や弾薬庫、繫船場が残る。
	47 柿ヶ原堡跡(かきがはらほるいあと)	石垣が一部残る。

分類

□政策

■文化・教育

□イベント・体験

□グルメ

タイトル

玉青館 春季特別展「珉平焼からタイルへ」

事業等

南あわじ市滝川記念美術館 玉青館 春季特別展

ホームページ等

日 時

2026年1月10日(土)～2026年6月7日(日)



場 所

南あわじ市滝川記念美術館玉青館 (南あわじ市松帆西路1137-1)

連絡先

南あわじ市滝川記念美術館 玉青館 担当：的崎

TEL: 0799-36-2314 FAX: 0799-36-5408

✉: gyokuseikan@city.minamiawaji.hyogo.jp

市HP
玉青館

南あわじ伝統のタイル産業は、こうして始まった



珉平焼からタイルへ

— 南あわじの近代化遺産 —

- 1 染付菊文彫透利／田中陶苑 所蔵
- 2 黄南京鉄繪雲龍文林／田中陶苑 所蔵
- 3 赤海老文彫透／田中陶苑 所蔵
- 4 淡黄地地龍文透タイル／株淡陶社 所蔵
- 5 褐色地白花文透タイル／株淡陶社 所蔵
- 6 薄緑地果物透スパチャルエンボス乾式タイル／株淡陶社 所蔵
- 7 朧細刷花文乾式タイル／深井明比古 氏 所蔵

1
2
3
4
5
6
7

春季特別展

2026.1.10(土)～2026.6.7(日)

開館時間／9:00～17:00(入館受付は16:30まで)

休館日／毎週月曜日※月曜日が祝日の場合は翌平日休館

特別入館料／大人500円／大学・高校生300円／中・小学生150円

南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

GYOKUSEI MUSEUM

南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314/FAX 0799-36-5408

【協力】株淡陶社 田中陶苑 兵庫県立考古博物館



～同時開催～

Ride the Train

～思い出の淡路鉄道～

2025.12.18(木)～2026.6.7(日)



所蔵：宮田喜之 氏/P撮影：荒井文治 氏 1940.1.5 宇山



所蔵：(株)淡陶社

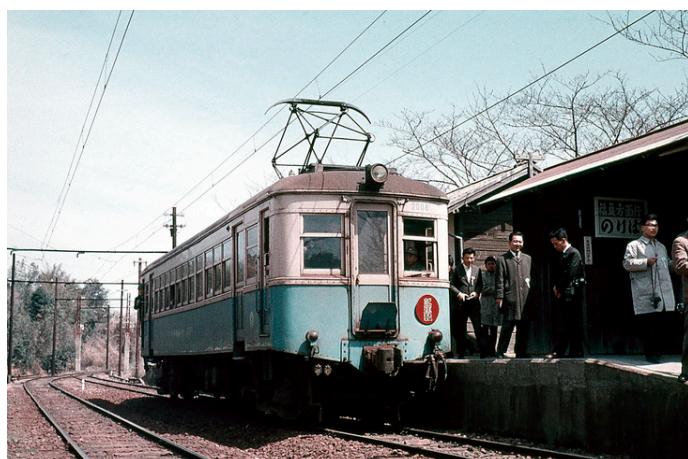
江戸時代後期、賀集珉平が伊賀野村に開窯した「珉平焼」は、独自の色彩表現と意匠を展開し、庶民の使う日用雑器から京焼の流れをくむ精緻な高級美術品まで、多様な作品を手掛けました。その後、徳島藩の御用窯として認められ、淡路島における陶器産業の基礎を築きました。その技術や意匠を受け継いだ「淡陶社」が明治18年に設立され、輸出陶器の製作に加え、日本初の本格的なタイル生産を開始します。令和7年には創業140年を迎えた淡陶社は、革新的な理念と技術を継承し、現在も生産を続けています。

本展では、珉平焼の成立から近代タイル産業の発展までを淡路島の重要な産業遺産として位置づけ、その歴史とともにそれぞれの時代の中で人々を魅了してきた作品や製品をご紹介します。

【協力】(株)淡陶社 田中陶苑 兵庫県立考古博物館

■ 関連イベント

- ・深井明比古氏 (株)淡陶社技術研究所上席研究員による講演会と展示解説：3月20日（祝・金）
- ・(株)淡陶社技術研究所展示室・福良工場見学と解説：4月18日（土）
- ・ワークショップ：ミニチュア鋳造体験・どうたくデコなど



所蔵：淡路交通(株) 提供：鵜塚誠一氏

■ 同時開催

Ride the Train～思い出の淡路鉄道～

かつて淡路島で人や物資の輸送を担った「淡路鉄道」。この鉄道は、地域の暮らしや産業を支え、交通史や産業史において重要な役割を果たしていました。

本展では、開通当時の貴重な資料とともに、各駅舎の当時の姿と現在の様子を写真で紹介します。大正11年（1922年）の開業から昭和41年（1966年）の廃線までの歴史を辿り、懐かしい駅舎や車両の姿、かつて賑わいを見せたホームや人々、そして沿線の風景をご覧いただけます。淡路鉄道の思い出とともに、心の旅をお楽しみください。

【協力】淡路交通(株) 洲本市立淡路文化史料館

南あわじ市滝川記念美術館玉青館

休館日：月曜日、祝日の場合は翌平日

開館時間：9:00～17:00（入館受付は16:30まで）

入館料：大人500円／大学・高校生300円／中・小学生150円

分類

□政策

■文化・教育

□イベント・体験

□グルメ

タイトル

大充実の企画展示「淡路人形浄瑠璃資料館」

事業等

淡路人形浄瑠璃資料館

ホームページ等

日 時

開館時間：10:00～17:00・休館日：水曜日・祝日の翌平日・年末年始



資料館HP

場 所

南あわじ市淡路人形浄瑠璃資料館（南あわじ市市三條880）



市HP

連絡先

南あわじ市淡路人形浄瑠璃資料館 担当：武岡

人形浄瑠璃資料館

TEL：0799-42-5115

淡路人形浄瑠璃発祥の地から発信する500年の歴史



■ 大展示室の入替をしました！ 『淡路人形浄瑠璃名場面』 絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段は、淡路座では昔から人気でよく上演されていた演目です。

展示室の飾りつけは、淡路島でプロとして活躍している淡路人形座（株）うずのくに南あわじ 淡路人形座）に依頼しました。実際に動き出しそうな迫力のある展示をぜひご覧ください。

また、今回初めての試みで「南あわじ市立南淡中学校 郷土芸能部」より真柴久吉の人形をお借りしました。実際に中学校のクラブ活動で使用している人形です。プロの人形と比較してみると新しい発見があるかもしれません。

■ 第42回淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会写真展

後継者団体交流発表会は毎年行われており、今年は洲本市文化体育館しばえもん座で開催され、人形浄瑠璃の保存伝承に取組む島内外の9団体が参加し、交流を深めました。

本展示では、7月21日に行われた後継者団体交流発表会の様子を写真でお届けしています。

- ・期間：2026年2月1日(日)まで
- ・場所：淡路人形浄瑠璃資料館 第2展示室

■ 実際にお芝居で使われた人形を見ながら描く 「淡路人形絵画サークル」の作品を展示 第34回淡路人形絵画展

淡路人形浄瑠璃資料館では、5月～10月の毎月3日間、「淡路人形絵画サークル」による写生会を開催しており、2月からは参加者の作品を展示しています。

また、「淡路人形絵画サークル」では、参加者も募集中。島外からでも参加可能で、1日だけの参加もできます。

- ・期間：2026年2月10日(火)
- ・場所：淡路人形浄瑠璃資料館 第2展示室

■ 特別展「淡路座と大坂」

2月5日(木)～3月中旬ごろまで（現在、準備中です）



こぼれ話

しきさんばそう 式三番叟

淡路島では、昔から神事として「式三番叟」を奉納していました。今では毎年1月2日朝8時に、淡路人形発祥の地とされる三條八幡神社で淡路人形座の巡業成功を願って奉納されます。



分類

□政策 □文化・教育

■イベント・体験

□グルメ

タイトル

イングランドの丘のシーズナルイベント2025

事業等

淡路ファームパーク イングランドの丘

ホームページ等

日 時

下記のとおり

場 所

淡路ファームパーク イングランドの丘（南あわじ市八木養宜上1401番地）



連絡先

淡路ファームパーク イングランドの丘 企画・広報担当 井上

TEL : 0799-43-2626

✉ : r-inoue@england-hill.com

イングランドの丘HP

南あわじの農業公園できらめく冬！わくわくの新春！

自然豊かな淡路島中央部に位置する淡路ファームパークイングランドの丘は、コアラのいる農業公園として、今年開園24年を迎えました。コアラの他、ひつじや世界のウサギなどの小動物を展示しており、季節の野菜の収穫体験やクラフト体験、遊びの広場などで、自然の中、ゆったりと一日を満喫できる施設です。また、職人自慢の自家工房品や淡路島グルメなどもおすすめです。



■ ロマンティック・クリスマス2025 ポインセチアデコレーション

- ・期間：～12/25(木)まで
- ・場所：グリーンヒルエリア 大温室内コンサバトリー
- ・時間：9:30～17:00
- ・料金：観覧無料(別途入園料は必要)
- ・規模：中央花壇約50m²に約200株のポインセチアを植栽
- ・特徴：赤・白・ミックスのポインセチアを彩り豊かに展示し、温室内をクリスマスデコレーションで華やかに演出します。暖かな空間で、一足早いクリスマスの雰囲気をお楽しみください。会場には、サンタクロースの置物やプレゼントボックス、クリスマスドアなどのフォトスポットも登場予定です。



■ 甘い香りに包まれて♪ 5品種を食べ比べできる 「いちご収穫体験」開催！

- ・期間：12月下旬～5月下旬
- ・場所：イングランドエリア トマト・いちご温室
- ・時間：9:30～閉園30分前まで
- ・料金：100gあたり350円の量り売り制（※食べ放題ではありません）
- ・受付：2月6日までは当日先着順、2月7日以降の土日祝・GWは事前のWEB予約が必要
- ・規模：450m²のハウス内に約3,000株を栽培
- ・特徴：高設栽培で5品種のいちご（紅ほっぺ・章姫・ゆめあまか・甘クイーン・紅クイーン）をお楽しみいただけます。うち3品種（ゆめあまか・甘クイーン・紅クイーン）は兵庫県育成の品種です。

イングランドの丘では、開園以来続く人気イベント「いちご収穫体験」を開催しています。5品種のいちごを摘み取りながら食べ比べができるとあって、毎年多くのお客様にご好評をいただいているます。

■ 淡路うず助 原画展

アイドルグループ「timelesz」のメンバー・松島聰さんがデザインしたキャラクター『淡路うず助』の原画を展示いたします。

展示はイングランドエリア内の「国生みの館」に新設する『淡路うず助の間』にて実施し、同キャラクターの世界観を表現したレイアウトでお楽しみいただけます。

- ・期間：12/17～3/31までの予定
- ・場所：イングランドエリア 国生みの館
- ・時間：9:30～閉園30分前まで
- ・料金：無料（別途入園料は必要）

●国生みの館（旧三原郡役所）とは

兵庫県内に現存する最古の郡役所であり、淡路島における最古の擬洋風建築で、淡路地域の官公庁舎の歴史を知るうえでも極めて貴重な建築物。阪神・淡路大震災により一度は解体された後、移築・復原が行われ、現在は淡路島の歴史や観光情報を発信する資料館として活用されています。建築意匠や構造が高く評価され、国登録有形文化財に登録されました。



■ 新春わくわく宝さがし大会

－10個の宝箱を見つけよう！－

- ・期間：12/25～1/12
- ・時間：9:30～閉園まで（宝箱がなくなり次第終了）
- ・料金：無料（別途入園料は必要）

●イングランドの丘 大人気イベント「宝探し」

お正月は特別企画として、宝箱の数がなんと10個に！みんなでワクワクの宝探しに挑戦しよう！見つけた方には、豪華賞品が当たるチャンスもあります。

淡路島特産の玉ねぎや新鮮野菜などが当たる、毎年大好評の宝探し大会です。

■ 地域特産PR 新春5,000円くじ

－園内で味わって・楽しんで・旬の恵みをお持ち帰り－

- ・期間：1/2～1/4
- ・時間：9:30～閉園まで
- ・場所：入園ゲート前(抽選会場)

園内でのお食事・お買いもの・体験教室のご利用レシート合計5,000円分（税込）で、旬の新鮮野菜をプレゼント！おいしい体験のあとに、自然の恵みをそのままお持ち帰りいただけます。ぜひ、この機会に園内で“味わって・楽しんで・持ち帰る”ひとときをお楽しみください。

イングランドの丘 基本情報

淡路ファームパーク イングランドの丘

〒656-0443 兵庫県南あわじ市八木養宜上1401番地

営業時間：9:30～17:00（最終入場16:30）

※季節により変動あり

休園日：火曜日（祝日の場合は営業）

※1月は火曜・水曜休園

入園料：大人 1,200円（高校生以上）

小人 400円（4歳以上）



守本市長（左）に『淡路うず助』の原画を手渡す松島聰さん



淡路うず助

©So Matsushima/STARTO ENTERTAINMENT



分類

□政策 □文化・教育

■イベント・体験

□グルメ

タイトル

道の駅うずしお リニューアル記念スタンプラリー

事業等

道の駅うずしお リニューアル記念スタンプラリー

ホームページ等

日 時

2025年10月19日（日）～2025年12月31日（水）

場 所

市内観光施設・飲食店等

連絡先

南あわじ市 産業建設部 商工観光課 担当：印部

TEL：0799-43-5221 FAX：0799-43-5321

✉ shoukou_kankou@city.minamiawaji.hyogo.jp

道の駅うずしおHP
当イベント情報

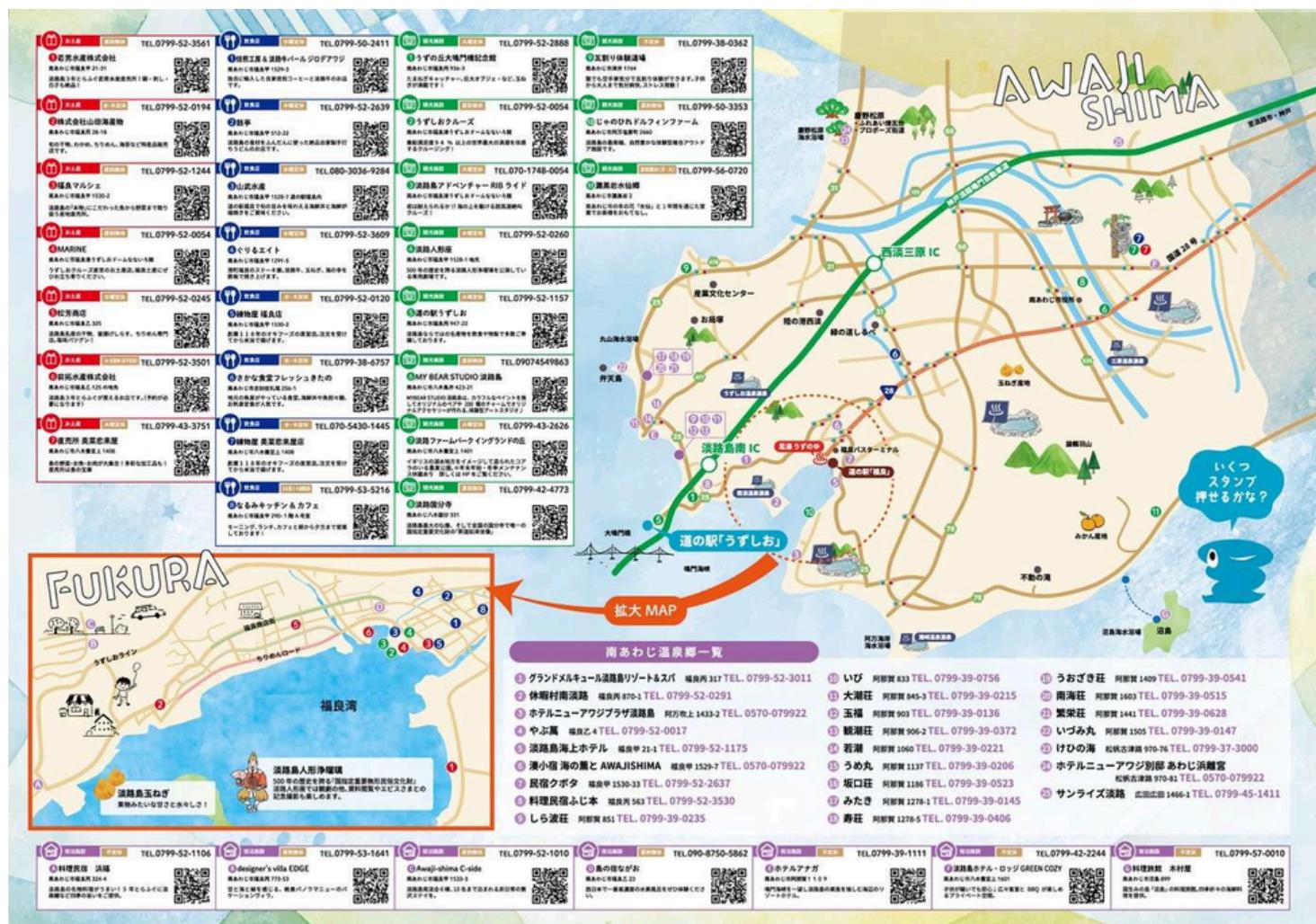
「道の駅うずしお」リニューアルをもっと盛り上げる！

2025年10月19日(日)にフルリニューアルオープンした「道の駅うずしお」を記念して、うずしおクルーズを含む南あわじ市の観光施設などで共同スタンプラリーを開催中です。

スタンプを集めて応募すると、淡路島の豪華特産品など、素敵な景品が当たるチャンス。お得に楽しく福良の魅力を満喫しましょう！

■道の駅うずしおリニューアル記念スタンプラリー

- 期間：2025年10月19日(日)～12月31日(水)
- 場所：道の駅うずしお、うずしおクルーズ乗船券売場他
- 景品：豪華特産品・3年トラフグセットなど



分類

□政策 □文化・教育

■イベント・体験

□グルメ

タイトル

「灘黒岩水仙郷」1月7日より開園

事業等

灘黒岩水仙郷

日 時

1月7日(水)～2月下旬

ホームページ等

場 所

灘黒岩水仙郷（南あわじ市灘黒岩2）

連絡先

産業建設部 商工観光課 担当：金山
 TEL：0799-43-5221 FAX：0799-43-5321
 E-mail：shoukou_kankou@city.minamiawaji.hyogo.jp

灘黒岩水仙郷
 TEL：0799-56-0720



市HP
 灘黒岩水仙郷

水仙・カフェ・自転車・絶景という“超”理想的拠点



日本の三大群生地の1つといわれる南あわじ市冬の風物詩「灘黒岩水仙郷」の水仙が1月中旬～2月下旬まで見頃を迎えます。（開花状況はHPをご確認下さい）

■ ユニバーサルデザインにリニューアル

令和5年度リニューアル改修工事を経て、施設は車椅子の方でも利用しやすいユニバーサルデザインになり、施設横スロープにも花壇を新設し誰でも間近で水仙の鑑賞や甘い香りをお楽しみいただけるようになりました。また園地内では斜面に高床式デッキ遊歩道が整備され、諭鶴羽山麓に自生する水仙を安全に周遊しながら鑑賞いただけます。

施設屋上からは紀淡海峡の大海上が広がり、国生み神話の舞台で知られる「沼島」の眺望が望めます。施設内イートインスペースでは、南あわじ市で人気のふくカフェ2号店「BASE COFFEE」がこだわりのコーヒーやワッフル、軽食等をお楽しみいただけます。皆様のお越しをお待ちしております。



■ サイクリストが殺到する「隠れたオアシス」

この施設は、淡路島一周（アワチ）のルート上にあり、特に「覚悟して挑む」難所として知られる灘大川の登坂手前に位置しています。リニューアル後の水仙郷は、サイクリストにとっての「隠れオアシス」として大きな魅力を放っています。

館内には、ビンディングシューズから履き替えられるサンダルが完備され、汗を流せる有料のシャワー設備、無料Wi-Fi、携帯充電レンタル、ウォーターサーバー、さらには自転車の修理工具も完備。過酷な登坂に挑むサイクリストにとって、ここは休憩と補給の理想的な拠点となっています。



■ 1月上旬に愛称発表予定！

かねてより公募しておりました、灘黒岩水仙郷の施設及びテラスの愛称が1月上旬に発表予定です。どんな愛称になるか、ご期待ください！

なお、2月上旬には考案していただいた方の表彰式を予定しています。

分類

□政策 □文化・教育

■イベント・体験

□グルメ

タイトル

心ほどける、南あわじ温泉郷の癒し旅

事業等

南あわじ温泉郷

ホームページ等

日 時

通年

場 所

市内各所

連絡先

淡路島観光協会 南あわじ観光案内所 (9:00~17:00 火曜休)

〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-4 道の駅福良内

TEL : 0799-52-2336



温泉郷HP

南あわじ温泉郷は魅力あふれる“七湯七色”

四季折々の自然美、そして美肌の湯として人気の南あわじ温泉郷。2025年には新たに「うずしお温泉霧（てん）の湯」も加わり、7つの泉源が楽しめます。

「霧（てん）」は「潤う」という意味を持ち、肌をすべすべにする作用がある炭酸水素イオンが主成分です。

地元グルメも楽しめる理想の温泉地で、観光と癒しを両立させた贅沢な休日をぜひお過ごしください。

※「うずしお温泉」は南あわじ温泉郷事業協同組合の登録商標です(登録商標第6935610号)

■ うずしお温泉霧（てん）の湯

やや白濁したアルカリ性のお湯が肌をつるつるにして皮膚の表面を柔らかくする。炭酸水素イオンを多く含む「美人の湯」

■ うずしお温泉

なめらかな感触・皮膚をやわらかくして皮膚の脂肪や分泌物を洗い流す。アトピーに効くと評判あり。

■ 南淡温泉

塩分が皮膚に付着して汗の蒸発を防ぐので保温効果が高い。入浴後もいつまでもあたたかい。

■ 南あわじ温泉

ミネラル分と硫黄分で高い保温・保湿効果と美白効果、更に特殊成分により療養泉として効果が期待。

■ 潮崎温泉

温泉は無色透明無味無臭ですが、炭酸水素・イオンの含有が多く、お肌がツルツルになる美肌効果があります。

■ 三原温泉

無色透明・ほとんど無味無臭。石けんが良くきき、お湯はやわらかい。

■ サンライズ温泉

フッ素、イオンを含む温泉です。保温性が高く、体の芯まであたたまると好評。スポーツ後のリフレッシュにも最適です。

■ 「手湯体験」を設置！

バス乗り場と駐車場を有する交通の要所「陸の湊西淡（りくのみなと せいだん）」のロビーに、「手湯体験」できるスペースが期間限定で誕生！神戸・大阪、四国方面を結ぶ交通の要所で、移動の途中に、短時間でも、リラックスできる「手湯体験」で南あわじの温泉を堪能しませんか？



写真は前回、伊加利地区コミュニティセンターで実施した「手湯体験」の様子

※ 12/16(火)より開始予定。

※「足湯」を楽しみたい方は、福良港（うずしおドームなないろ館隣）にある「足湯うずのゆ」もぜひ。



分類

□政策 □文化・教育

■イベント・体験

□グルメ

タイトル

淡路島で“プチ漁師体験”

事業等

漁師体験プラン

ホームページ等

日 時

通年・随時



場 所

南あわじ市丸山漁港・灘漁港・沼島漁港

連絡先

南あわじ市 産業建設部 水産振興課 担当:庄田

TEL: 0799-43-5243 FAX: 0799-43-5343

✉: suisan@city.minamiawaji.hyogo.jp

市HP
漁師体験

島ならではの本物の学びと感動は一生の宝物



南あわじ市では、漁業という一次産業の魅力を深く伝えるため、「淡路島で“プチ漁師体験”」プログラムを展開しています。このプログラムは、単にレジャーとして魚を獲るのではなく、「海と向き合い、自然のリズムを読み、命をいただく」という漁師の仕事を学ぶことに焦点を当てています。

■ 万博認定のSDGs教育プログラム

この漁師体験は、その教育的価値と地域連携が認められ、2025年大阪・関西万博「ひょうごフィールドパビリオン」SDGs体験型地域プログラムに認定されました。子どもから大人まで、誰でも参加可能であり、体験を通じて漁業の大変さ、面白さ、そして持続可能な漁業の重要性を学ぶことができます。

■ 選べる3つの漁法と現場の驚き

体験場所は灘、丸山、沼島の3地区に分かれており、それぞれ異なる漁法を体験できます。



漁法	場所	特徴
定置網漁	灘	沿岸に仕掛けた網から、魚種豊富な獲物を収穫
吾智網漁	丸山	網で魚を囲み引き揚げる、ダイナミックな漁法
底引網漁	沼島	海底を網で引く、深海の魚との出会いが魅力

どの漁法も地元漁師による丁寧なレクチャー付きで、初めての方でも安心して参加できます。

■ 参加者のリアルな声



- ・漁師さんの説明が丁寧で、漁の仕組みがよくわかった
- ・魚の種類が多くて驚いた。子どもも大喜び！
- ・漁業の大変さと面白さを知る、貴重な体験だった

分類

□政策 □文化・教育 ■イベント・体験

□グルメ

タイトル

冬の福良を彩る「フクラリエ」

事業等

フクラリエ

日 時

2025年11月16日（日）～2026年1月12日（日）

場 所

南あわじ市福良地区（福良湾）

連絡先

南あわじ市 産業建設部 商工観光課 担当：印部

TEL：0799-43-5221 FAX：0799-43-5321

✉：shoukou_kankou@city.minamiawaji.hyogo.jp

3年？いいえ、こちらは「100年とらふぐ」です！



南あわじ市南部の歴史ある港町、福良湾を舞台にした光と音の祭典「FUKURARIE（フクラリエ）2025」は、2025年11月16日に開幕し、現在盛況のうちに開催中です。このイベントは、観光客が伸び悩む冬の淡路島において、夜間の滞在と回遊を促すための重要な観光起爆剤として位置づけられています。イベントは2026年1月12日(日)まで開催されます。

■ 現在進行中のメインコンテンツ 巨大バルーンの迫力

会場の福良湾には、イベントのシンボルである全長15mもの巨大なふぐバルーンが登場し、現在も連日、来場者を幻想的な世界へと誘っています。このバルーンは、福良が誇る冬の味覚の王様「淡路島3年とらふぐ」のPRを兼ねており、その圧倒的なサイズと存在感から「100年とらふぐ」という通称にふさわしいものです。バルーンは期間中毎日、夜23時までライトアップされており、夜の港町に活気と彩りをもたらしています。

■ 盛況裏に終了した初日の特別企画

イベント初日の11月16日には、「フクラリエ花火クルーズ」という1年に1度だけの特別な企画が定員150名の船上で開催され、盛況のうちに終了しました。

■ 未来への期待

イベントは、年末年始を含む2026年1月12日まで続きます。この期間中、観光客は福良の豊かな食文化（淡路島3年とらふぐなど）を堪能しつつ、巨大バルーンが照らす幻想的な港町の夜の雰囲気を楽しむことができます。市としては、このイベントが、冬の淡路島に人が集まる仕掛けとして機能し、地域経済への継続的な波及効果を生み出すことを期待しています。

分類

□政策 □文化・教育 □イベント・体験

■グルメ

タイトル

「淡路島3年とらふぐ」今年も解禁！

事業等

淡路島3年とらふぐ

ホームページ等

日 時

冬季



場 所

南あわじ市福良地区（福良湾）

連絡先

南あわじ市 産業建設部 商工観光課 担当：印部

TEL：0799-43-5221 FAX：0799-43-5321

✉：shoukou_kankou@city.minamiawaji.hyogo.jp

市HP

淡路島3年とらふぐ

近畿圏内初地理的表示（GI）登録の福良湾冬の味覚

淡路島福良湾で冬の味覚の王様、「淡路島3年とらふぐ」が今年も解禁されました。このトラフグは、通常の養殖トラフグ（2年もの）の常識を覆し、3年間という長期にわたって丹精込めて育てられています。



前田若男 福良漁協組合長

■ 淡路島の挑戦が生んだ「究極の肉質」

3年もののトラフグは、重さが通常の2年もの（約800g）の1.5～2倍となる1.2kg～1.8kgにまで成長します。養殖場は、日本一潮の流れが早い鳴門海峡の激しい潮流が渦巻く福良湾。この激流に揉まれ運動量が増えることで、身が引き締まり、養殖魚特有の黒い筋が消え、「天然もの」と変わらないほどの肉質と濃厚な旨味を獲得します。

特に、白子は2年ものでは考えられないほど大きく、「口の中でとろける逸品」として知られています。

■ 40年の苦難と若きリーダーの熱意

福良漁協は、約40年前にトラフグ養殖を始めましたが、価格下落などで業者が減少。約25年前に、魚体も白子も充実する「3年もの」への挑戦を始め、失敗を重ねながら養殖技術を確立しました。

現在、地域を引っ張るのは福良漁協の前田若男組合長（55歳）です。彼はハマチ養殖をやめ、3年とらふぐに専念。所得を確保するためネット販売や有名店との取引を開始し、ブランド化を推進しました。

この長年の努力が実を結び、2024年1月には、「淡路島3年とらふぐ」が、水産物として近畿圏内で初めての地理的表示（GI）に登録されるという快挙を達成しました。

■ 冬の淡路島を救う「食の力」

このブランドの確立により、これまで観光客が伸び悩んでいた冬の淡路島に、「3年とらふぐ」目当てで多くのお客様が訪れるようになりました。

また、このフグと、南あわじ市が全国1位の生産量を誇る冬レタスを組み合わせた「美福鍋（みふくなべ）」も提供されています。ぷりぷりのフグの身とコラーゲン、シャキシャキのレタスを地元特産の素麺と地酒の出汁で楽しむこの鍋は、美肌効果も期待できることから女性に特に人気です。

※地理的表示（GI）…特定の地域を生産地とし、その土地の気候や風土、あるいは伝統的な製法などと結びついた、品質や社会的評価などの特性を持つ商品の名称を、知的財産として国が保護する制度

（参考）https://www.maff.go.jp/pr/aff/2501/spe1_01.html

分類

□政策 □文化・教育 □イベント・体験

■グルメ

タイトル

兵庫県最大級の直売所 あわじ島まるごと「美菜恋来屋」

事業等

直売所 美菜恋来屋

ホームページ等

日 時

通年

場 所

直売所 美菜恋来屋 (南あわじ市八木養宜上1408)



連絡先

直売所 美菜恋来屋

TEL : 0799-43-3751 FAX : 0799-43-5551

美菜恋来屋HP

直売所が創る、地域住民の交流と高齢者の生きがい



南あわじ市にある兵庫県最大級の大規模直売所「あわじ島まるごと美菜恋来屋（みなこいこいや）」は、単なる特産品の販売所ではなく、地域が抱える高齢化の課題を解決する重要な拠点として機能しています。

■ 高齢生産者の「出荷場所」としての役割

この施設が整備された重要な目的の一つは、生産者の高齢化への対応です。淡路島には高い技術を持つ高齢農家が多いものの、大量の生産が困難になり、重い野菜を運ぶのも難しくなっていきます。美菜恋来屋は、そうした高齢者が「少量でも出荷でき、活力を発揮できる場所」として整備されました。ここでは、高齢者が自らのペースで生産を続け、所得と生きがいを確保する、地域に根ざした新しい生活モデルが実現しています。

■ 淡路島の「食」が凝縮したラインナップ

美菜恋来屋には、淡路島たまねぎ（兵庫県全国3位）、冬レタス（全国1位）、そして「幻の和牛」と呼ばれる淡路ビーフ（赤身が多い）、淡路島3年とらふぐ、淡路島サクラマスといった、島の最高級の食材がまるごと揃います。

また、鮮魚コーナーでは、利益にならざる扱いがちな「未利用魚」「低利用魚」も販売されており、地元の水産資源の有効活用とSDGsの推進にも取り組んでいます。

2階のハーフビュッフェレストラン「収穫食祭」では、淡路島産新鮮野菜が主役のおばんざいが食べ放題となっており、島の恵みを心ゆくまで堪能できます。

■ 地域を巻き込む交流拠点

美菜恋来屋は、コアラのいる「淡路ファームパーク イングランドの丘」の隣に位置し、観光客の利便性も高いです。さらに、11月30日の「フレイル予防イベント」や、1月17日の南淡漁協による「アオリイカ天ぷら振る舞いイベント」など、地域住民や漁業者が参加するイベントが定期的に開催されており、地域の食と健康の交流拠点としての役割も担っています。

分類

□政策 □文化・教育 □イベント・体験

■グルメ

タイトル

「島サラダ×ベジスイーツフェア2025」開催中！

事業等

島サラダ×ベジスイーツフェア2025

日 時

2025年11月15日(土)～2026年3月22日(日)

場 所

淡路島内各店舗（21店舗）

ホームページ等

連絡先

南あわじ市食の拠点施設整備推進協議会

(事務局：南あわじ市 産業建設部 食の拠点推進課) 担当：村上・土井
TEL：0799-43-5224兵庫県淡路県民局 南淡路農業改良普及センター 担当：野喜
TEL：0799-42-0649市HP
当フェアページ

「御食国」が推進する地域ブランド化の最前線



Shintama



淡香 (たのか)



レタスジェラート

淡路島が誇る「御食国」の豊かな食材をPRするため、「南あわじ市食の拠点施設整備推進協議会」が主催する「島サラダ×ベジスイーツフェア2025」が、2025年11月15日(土)から2026年3月22日(日)の期間限定で開催中です。

■ 「オール淡路島産」が生む価値

このフェアで提供される「島サラダ」は調味料などを除き「オール淡路島産の食材」を使用。また「ベジスイーツ」は淡路島産の野菜を主に使ったスイーツです。

淡路島は、年間300種類以上の野菜や果物が育つ、食料自給率120%を誇る豊かな「御食国」です。特にフェア期間の11月～3月は、冬レタスの生産量が南あわじ市は全国1位となる旬の時期にあたります。島内21店舗の飲食店等のシェフや料理人が、この旬の恵みを最大限に引き出したオリジナルメニューを考案し、提供します。

■ 「ベジスイーツ」という新発想

今年度からフェアに加わった「ベジスイーツ」は、淡路島産の野菜をメインに使ったスイーツという、斬新なジャンルです。例えば、淡路島たまねぎを2週間かけてシロップに漬け込んだコンフィを使った「Shintama」や、玉ねぎと塩キャラメルを融合させた「淡香 (たのか)」という新感覚の羊羹、さらにはレタスの香りを活かした「レタスジェラート」などが登場します。

ターゲットとする健康志向の高い30代～70代の女性はもちろん、野菜が苦手な子どもでも美味しく食べられるよう、シェフたちが工夫を凝らしています。この取り組みは、農業改良普及センターなどが推進する、消費者・飲食店ニーズに沿った新たな作物づくりの一環であり、農家とシェフがタッグを組む、地域ブランド化の最前線です。

分類

□政策 □文化・教育 □イベント・体験

■グルメ

タイトル

冬はそうめん作りの最盛期！「淡路手延べそうめん」

事業等

淡路手延べそうめん

ホームページ等

日 時

冬の不漁期



場 所

南あわじ市福良地区

連絡先

産業建設部食の拠点推進課 担当：村上・土井
 TEL：0799-43-5224 FAX：0799-43-5324
 E-mail：shoku@city.minamiawaji.hyogo.jp

市HP
 手延べそうめん

手延べそうめんに宿る、淡路島の歴史と伝統



日本のそうめん生産量で兵庫県が全国1位を誇る中、南あわじ市では約180年の歴史を持つ伝統の技、「淡路島手延べそうめん」作りが冬の最盛期を迎えていきます。そうめん作りは、淡路島の漁業者が冬の不漁期に生活を支えるための「副業」として発展してきたという、地域独自の歴史を持っています。

■ 漁師が持ち帰った伝統の技

淡路手延べそうめんの起源は、天保年間（1830～1843年）に、福良の漁師である渡七平が三輪地方での修行を経て、その製法を福良に持ち帰ったことに遡ります。

そうめん作りに欠かせないのは、「冬の適度な乾燥と風」という淡路島の気候風土です。この恵まれた環境のおかげで、製麺業は明治中頃には漁業者の重要な副業となり、最盛期には約130軒もの職人が従事していました。その品質の高さは国際的に認められ、1915年（大正4年）のサンフランシスコ万博では金賞を受賞しています。

■ 「いとでし」の熟練の技術

淡路島の手延べそうめんは、「いとでし」と呼ばれる職人によって作られ、その技術は今も受け継がれています。特に、ハタ（棒）に付いた麺を約2メートルまで延ばし、ハシで上下にさばいて乾燥させる「門干し」の作業は、この時期の淡路島の風物詩です。

伝統の技と、冬の厳しい自然条件が一体となって生み出す淡路島手延べそうめんの品質は、地域に深く根付いた産業として、今もなお多くの人々に愛され続けています。

分類

□政策 □文化・教育 □イベント・体験

■グルメ

淡路島牛乳(株)商品、4年連続五つ星ひょうごに選定

事業等 淡路島牛乳株式会社

ホームページ等

日 時 一

場 所 淡路島牛乳株式会社（南あわじ市市善光寺26番地1）

連絡先 淡路島牛乳株式会社 担当：販売部 柏木、稻山
TEL：0799-42-5013 FAX：0799-42-5015
✉：kikaku@awajishimamilk.co.jp

淡路島牛乳(株)HP

独自性・地域性を生かした商品が高評価！

兵庫県南あわじ市で牛乳・乳製品を製造販売している淡路島牛乳株式会社です。

このたび、弊社商品「匠 淡路島ヨーグルト」が令和7年度五つ星ひょうごに選定されました。これにより、弊社商品は“4年連続”で五つ星ひょうごに選定されました。

これからも、兵庫県や淡路島の独自性や地域性を生かした商品づくりに取り組みます。



■ 「五つ星ひょうご」とは・・・

ひょうご五国（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）の豊かな自然や歴史・文化を生かした商品の中から、ひょうごの良さをアピールする「地域らしさ」と、これまでにない「新しさ」を兼ね備えた商品を「五つ星ひょうご」として選定し、全国に発信することにより観光・物産振興を図っています。（五つ星ひょうごHPより）

■ 淡路島牛乳(株)の五つ星ひょうご選定商品

①令和4年度選定：「淡路島コーヒージャム」

<https://awajishima-milk.jp/item/awajishima-coffee-jam/>

②令和5年度選定：「モーツアルト牛乳」

<https://awajishima-milk.jp/item/mozart-milk/>

③令和6年度選定：「淡路島藻塩プリン」

<https://awajishima-milk.jp/item/awajishima-coffee-jam/>

④令和7年度選定：「匠 淡路島ヨーグルト」 NEW！

<https://awajishima-milk.jp/item/takumi-awajishima-yoghurt/>

●特徴（地域らしさ、新しさ）

- ・良質な淡路島産生乳のおいしさを最大限に活かした“淡路島らしい”ヨーグルト
→淡路島の酪農家の中でも品質等に優れた5軒の酪農家の生乳のみを使用。
→原材料重量比の90%以上を生乳が占める。
- ・搾乳から製品化までのスピード
→生乳が工場に運ばれてから3時間以内に製品化。
- ・他のヨーグルトにない、クリームのような食感・濃厚さ。

「匠 淡路島ヨーグルト」開発裏話

「匠 淡路島牛乳のおいしい生乳を最大限に活かしたヨーグルトを作りたい」——ヨーグルトの製造担当社員の想いから開発が始まりました。

一番苦労したのは、淡路島の生乳にぴったり合う乳酸菌選びです。酸味が強すぎたり風味が弱かったりと試行錯誤が続きましたが、生乳の甘みとコクを引き出してくれる理想の菌にようやく出会うことができました。

その後も、甘みのバランスを整えるために砂糖の量を何度も調整し、大人も子どもも「ちょうどいい」と思える味を目指しました。

こうして、やさしい甘さとなめらかな食感が楽しめる「匠 淡路島ヨーグルト」が完成しました。子どもたちにも安心しておいしく食べもらえるヨーグルトに仕上がっています。

こぼれ話

2025年、メディアで取り上げられた 南あわじ市のニュースはこちら！

月	媒体	内容	詳細
1月	テレビ	重さ170kg 大鏡餅運び競争	薬王寺で毎年行われる新春恒例行事。力自慢たちが巨大な鏡餅を持ち上げて歩く距離を競い、地元の消防士が8連覇を達成。
1月	テレビ	淡路の土が生んだ「淡路瓦」	日本有数の瓦産地としての伝統技術を紹介。いぶし銀の美しさと、鬼瓦工房による新たな景観づくりが注目されました。
2月	雑誌	冬の王様「淡路島3年とらふぐ」	鳴門海峡の潮流で3年育て、身が締まった濃厚な旨味を持つブランドふぐの魅力に迫る内容。
2月	テレビ	春の美味「淡路島サクラマス」	養殖に適した南あわじの海で育ったサクラマス。地元飲食店による創作料理が、春の新たなご当地グルメとして紹介。
3月	テレビ	日本一の淡路島たまねぎ苗植え	糖度が高く「日本一」とも称される淡路島たまねぎ。春の収穫に向けた丁寧な苗植え作業の様子が季節の話題に。
4月	雑誌	世界最大級の渦潮「うずしおクルーズ」	世界最大級の渦潮を間近で見られるクルーズが、ツーリングや旅行の目的地として紹介。
4月	テレビ	南海トラフ地震への備え	避難所の環境改善に向け「キャンプ用簡易ベッド」を導入。災害関連死を防ぐ先進的な備蓄対策が全国ニュースで注目。
4月	雑誌	淡路島で楽しむアウトドアサウナ	絶景を眺めながらの「ととのい体験」ができる、南あわじ市の新たな観光資源を特集。
4月	テレビ	10万本のネモフィラが見頃	「イングランドの丘」で丘一面を青く染めるネモフィラが満開に。GWの行楽スポットとしてお茶の間に届けられました。
5月	テレビ	収穫最盛期！淡路島たまねぎ	糖度計で測ると梨並みの数値を出す農家のこだわり。収穫・吊り小屋での乾燥など産地ならではの風景を放映。
5月	テレビ	移住者が語る南あわじの魅力	移住一家の生活に密着。豊かな食と子育て環境を求め、都市部から移住を決めたリアルな暮らしを紹介。
6月	テレビ	驚きの大きさ「ジャンボにんにく」	通常の数倍のサイズで、臭いが残りにくい「ジャンボにんにく」。新たな特産品としての可能性が紹介されました。
6月	雑誌	今訪れたい「淡路島MAP」特集	南あわじ市の食と景観を中心に、大人の休日を彩る主要スポットが詳細マップ付きで紹介。
7月	テレビ	夏を乗り切る「ハモ」料理	延縄漁で一匹ずつ丁寧に獲られる「べっぴん鰯」。骨切り技術や、玉ねぎと一緒に炊くハモすき等の文化を特集。
7月	雑誌	オール淡路島産の「スマール酪農」	淡路島牛乳が取り組む、地域密着型で持続可能な酪農の新しい形が業界誌で注目。
7月	新聞	熟成を助ける「モーツァルト牛乳」	牛にクラシックを聴かせ乳質向上を目指すユニークな酪農法。科学的なアプローチと独自のブランド作りを紹介。
7月	テレビ	移住の魅力発見！自然と食の宝庫	地元スーパーでの買い物や絶景スポット巡りを通じ、移住者が増え続ける南あわじ市の「住みやすさ」を調査。
8月	テレビ	5万本のヒマワリが大輪	「イングランドの丘」のハイブリッドサンフラワーが見頃。真夏の淡路島を象徴する明るいニュースとして放映。



月	媒体	内容	詳細
8月	テレビ	地元出身・村上頌樹投手が活躍	阪神・村上投手が今季3度目の完封勝利。地元南あわじ市での応援の熱気とともに、郷土のスターの快挙を報告。
8月	雑誌	淡路島の隠れ家宿特集	南あわじの豊かな食材を活かした料理自慢の宿や、プライベート感溢れるヴィラを紹介。
9月	雑誌	秋休暇は淡路島で瀬戸内を満喫	鳴門海峡の自然と歴史、そこに根付く食文化を深掘りする質の高い観光提案がなされました。
9月	テレビ	自転車で巡る「アワイチ」	淡路島一周サイクリング。エイドステーションでの地元グルメ提供など、スポーツ観光の盛り上がりを紹介。
9月	テレビ	絶品！淡路島たまねぎラーメン	たまねぎを丸ごと1個分使ったご当地ラーメン。地域の特産品を活かした独自グルメの進化が注目されました。
10月	テレビ	ふるさと納税返礼品「淡路ビーフ」	最高級の淡路ビーフがふるさと納税で人気。生産現場のこだわりと、地域経済への貢献が経済番組で紹介。
10月	新聞	戦跡めぐり「陸軍飛行場跡」	市内に残る旧陸軍飛行場跡。平和教育や現代の社会的なテーマ（ダークツーリズム）を考える契機として紹介。
10月	雑誌	淡路島たまねぎの「万能ソース」	家庭で簡単に淡路島たまねぎを味わえる加工品やレシピが料理愛好家向けに紹介。
10月	テレビ	「道の駅うずしお」リニューアル	絶景スポットがさらに進化。timeleszの松島聰さん考案キャラの登場など、Z世代にも届く話題性が注目。
10月	テレビ	淡路人形浄瑠璃×インバウンド	500年の伝統を誇る芸能。多言語対応や外国人向け体験プログラムなど、万博を機に世界へ挑む取り組みを特集。
10月	雑誌	timelesz松島聰と巡る南あわじ	道の駅とのコラボを通じて、アイドルファンという新たな層に地域の魅力を発信。
11月	テレビ	10万本のコスモス満開	秋の観光シーズンに合わせた遅咲きのコスモス。「イングランドの丘」での季節の彩りが多くのニュースで紹介。
11月	新聞	淡路島の伝統文化「だんじり唄」	秋祭りで奉納される勇壮な「だんじり唄」。地域コミュニティを繋ぐ伝統の継承活動が、文化面で詳しく掲載。
11月	テレビ	冬の極上食材「3年とらふぐ」	養殖期間を1年延ばすことで実現する大きさと旨味。出荷が始まる冬の知らせとして、旬の映像とともに放映。
11月	雑誌	淡路島カチヨカヴァロ世界へ挑戦	地元産チーズが国際コンクールに出品。世界基準を目指す南あわじの食の職人たちが紹介。
12月	テレビ	新春を待つ「干支瓦」づくり	地場産業のいぶし瓦で作る来年の干支。職人が魂を込める伝統工芸品が、年末の風物詩として注目されました。
12月	テレビ	南あわじ発！SDGsな肥料作り	廃棄される野菜を堆肥化し、再び美味しい野菜を育てる「循環型農業」。持続可能なまちづくりの事例として紹介。

ほか多数

ぜひアンケートにご協力ください (二次元コードまたは下記URLより)

<https://logoform.jp/form/AKEA/1369440>

- Q1. 旬だよりに関するご意見・ご感想など (任意)
- Q2. 送付方法をメールに変更したい方 (希望者のみ)
- Q3. 送付先の変更・追加をご希望の方 (希望者のみ)



南あわじ旬だより 冬号 2025年12月

南あわじ市総務企画部ふるさと創生課プロモーション室

〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺22番地1

担当: 高柳・徳田

☎: 0799-43-5205

✉: kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市ホームページ ►
<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>

